



近年の建設業界には、女性の躍進も目立ってきた。女性ならではの、キメの細かさや気づきが活かされる箇所も多いからだろう。そんな中(株)サンコンサルは、女性技術者として末永 栞さんを採用。入社1年目になる末永さんに仕事の喜びや思い、今後の目標など話を伺った。

● 技術職を選んだきっかけ

父が測量会社に勤務しながら農家(酪農)に従事していましたので、測量は身近な仕事でした。今でも覚えているのは、中学生のときに見た土砂災害現場です。大雨が降り、家の畑が土砂に埋まって大変なときも、父は黙々と業務を遂行していました。その背中から、測量という仕事の責務を教わったように思えます。ただ、社会を支える重要な職業と理解していても、自分の将来には結び付きませんでした。進学を農業高校に決めたのも、専門知識を学び家族の力になりたかったからです。

測量の道を意識したのは、高校2年のとき平板測量を学んでからです。スピードと正確さを考えながら土地の距離を測り、地形図を作成する工程は興味深いものがありました。

卒業後の進路で悩んでいたとき、父から「測量の道に進んでみてはどうか」と促してくれ、将来への迷いは消えました。専門知識を学ぶ場所は、父と兄が卒業した専門学校に決め、高校の授業よりも幅広く新しい技術を学びました。

● 仕事の魅力や責務

測量業務は、事前計画の質によって作業効率も精度も大幅に変わってきます。成果が用地買収や設計などを左右する、責任重大な仕事です。だからこそ、生活基盤を支えているのは自分たちだと、やりがいを感じます。

先輩たちのように、どのような現場でも早く正確に誤差が少なくなるように、心がけていきたいと考えます。

● 仕事のこだわり、ポリシー

今はインプットが最優先。経験を積むために、ひとつでも多くの現場に出たいと思います。技術的に足りないからこそ、先輩に何度も質問や確認を繰り返して、仕事を進めるようにしています。

担い手シリーズ 05

家族の後押しが測量業界に入るキッカケ

末永 栞 入社1年目(測量士補)
株式会社 サンコンサル



末永 栞(すえなが しおり)
長崎県出身。福岡国士専門学校卒業後、平成31年4月に(株)サンコンサル入社。
会社概要
(株)サンコンサル
〒812-0888 福岡市博多区板付2-5-4
TEL092-582-1290 FAX092-582-1291

<http://www.sankonsaru.co.jp>

ます。スキルや知識の向上には、できることからコツコツと研鑽を重ねるしかありません。

● 過去の仕事で印象的なエピソード

現場に出て痛感したことはいくつもあります。学校でしっかり実技も学んだつもりでしたが、実務となると、現場やチーム内の意識など学生のとくとは勝手が違います。入社して間がないころ、境界復元測量の現場に行きました。現場作業は2〜3人で行いますが、私が器械を見ているときはポールマンへの意思伝達に戸惑い、私がポールマンのときは、杭や鉋をまっすぐに打設設置することに苦労しました。

測量は、自分ひとりがんばって何とかなるものではなく、それぞれの経験とチームワークの両輪で成り立っていると改めて感じました。

● 今後の目標

建設や土木の作業は、男女比で言えば圧倒的に男性が多いのは否めません。測量の現場も同じです。だからこそ、この仕事を認知してもらえよう、視野を広げ少しでもレベルアップを目指したい。

測量は屋外のイメージがありますが、CADやデータ分析など屋内作業も少なくありません。また、デジタル技術の進化は測量機器の軽減化につながっています。今後はさらに、女性が活躍できる環境になると期待しています。